

ワークショップ「自然エネルギーをどうすすめるか」 参考資料

I. “パッシブソーラーハウス”とは

機械力に頼らないで、建築的な工夫によって、自然なかたちで
太陽エネルギーを利用している住宅 のこと。

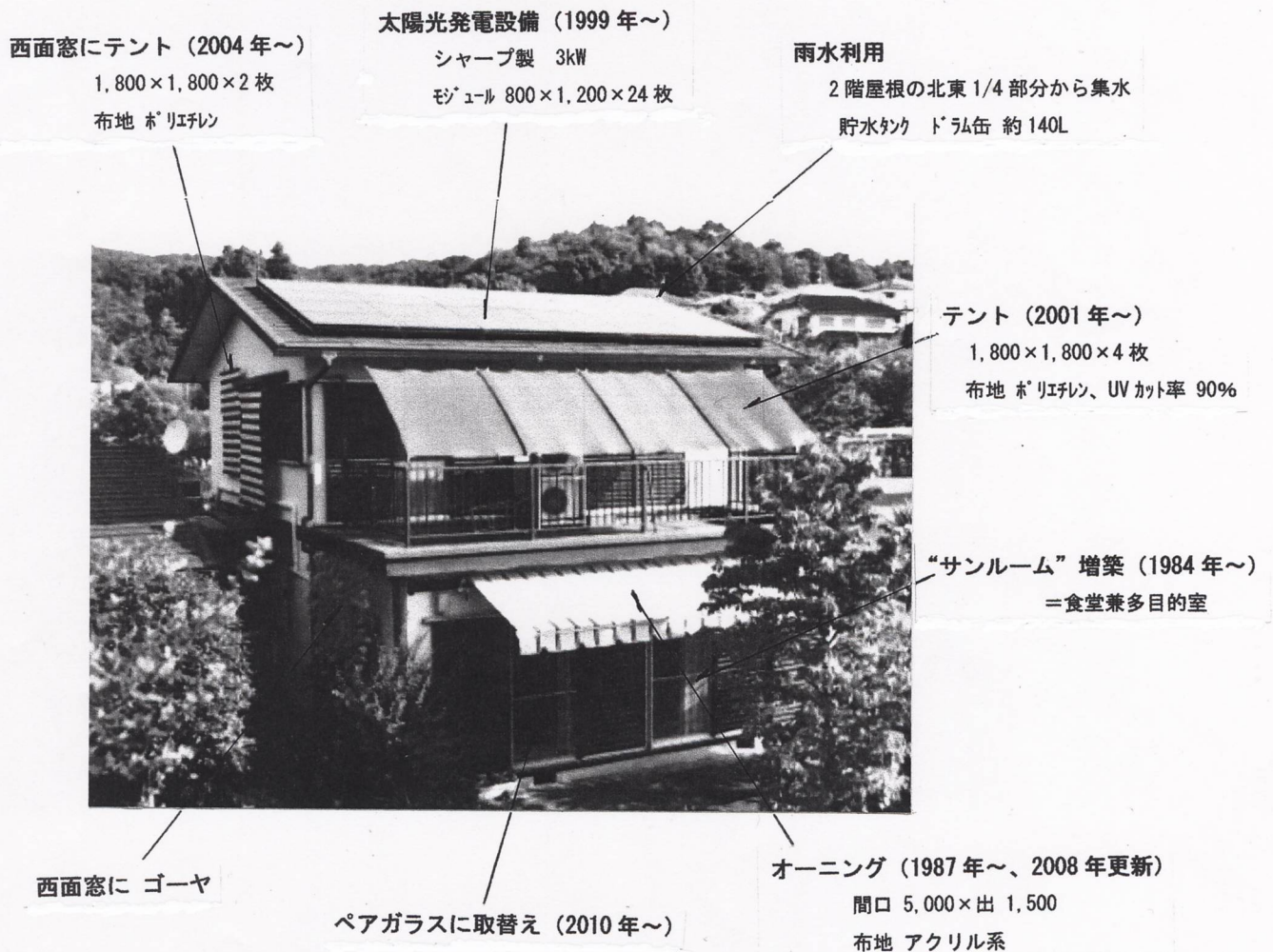
年間を通して比較温暖な関西地方などでは

夏季は日射を遮蔽するとともに通風を確保し

冬季は隙間風を防いで太陽熱を取り入れれば

ほとんどエアコンや暖房設備に頼らないで生活できるのではないのでしょうか。

——下は自宅(1974年新築)での実践例——



II. 太陽光発電設備設置に際しての注意点

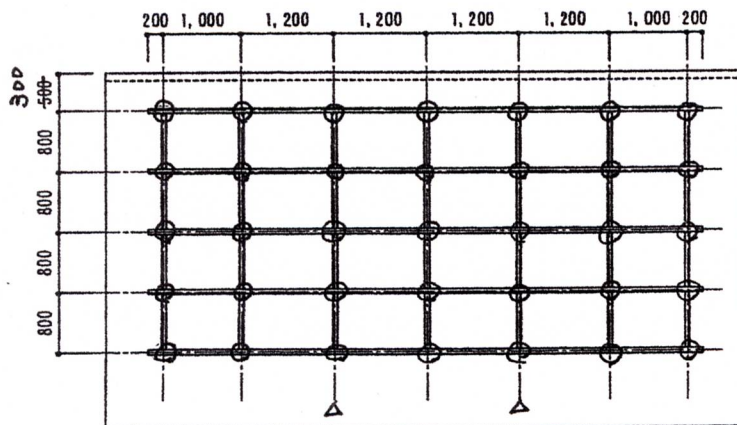
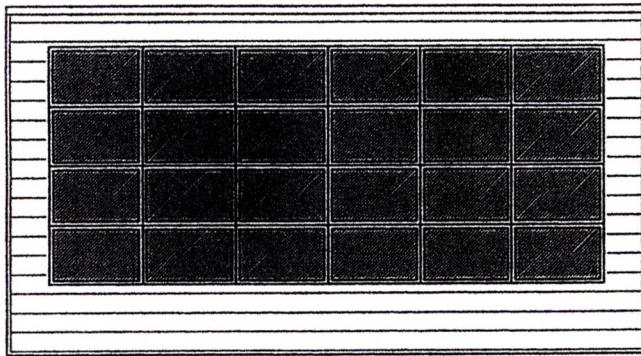
戸建住宅の屋根に設置する場合、通常、架台（縦椽）を雨の流下方向に配置して、野地板にねじ込み、固定することになる。

1. 屋根のチェック

- (1) 屋根材と強度に問題がないか。
- (2) 不陸がないか。
- (3) 周囲の樹木から枯葉が飛来してこないか。
- (4) 近く、屋根葺き替えの予定がないか。

2. 設置（施工）方法に問題がないか。

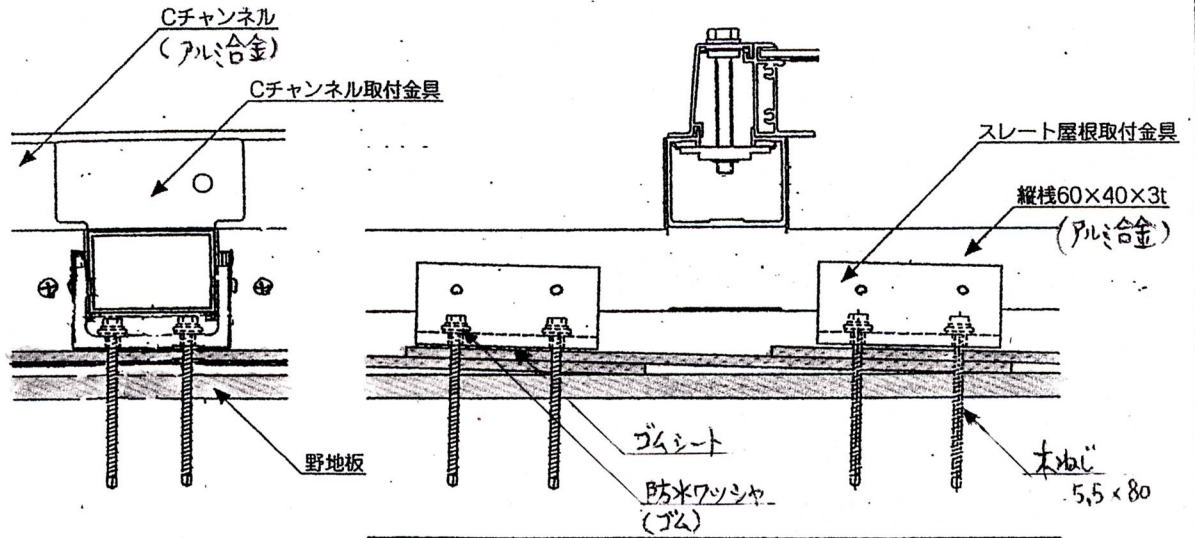
- (1) 台風対策（取付の堅固さ）
 - (2) 雨漏り対策（防水処理）
- ・メーカーから施工要領書等を提出させるとともに説明を受けること。
 - ・台風対策に関しては、建築基準法施行令で国内の各地域ごとに基準風速*が決められていて、太陽光発電設備についてもこれを基準として設計・施工要領がつけられている。
（*過去に経験した台風をもとに30、34、40、一、一、46 m/s）
 - ・台風対策と防水対策に関して参考図を<図-1>、<図-2>に示す。



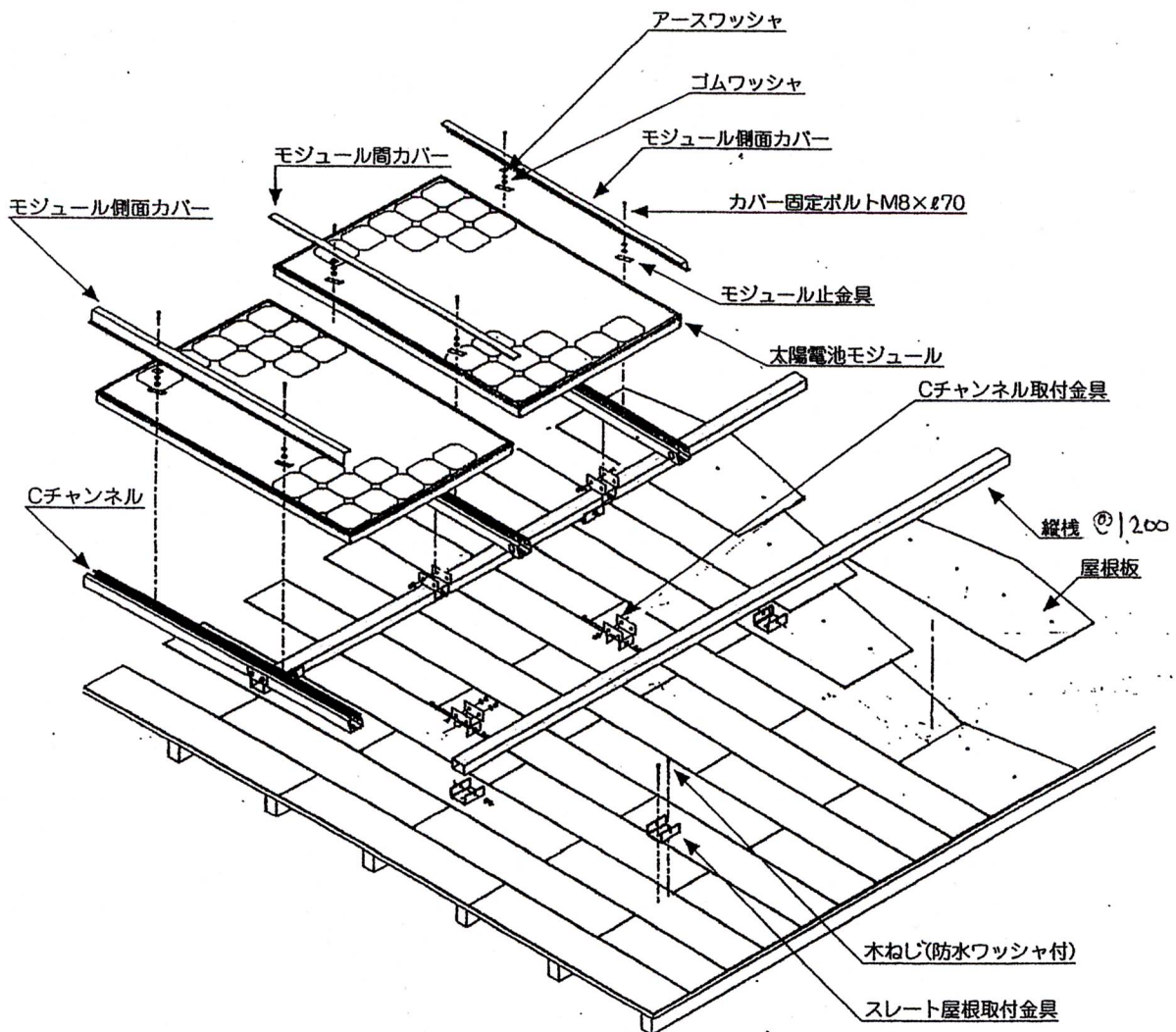
○印 屋根材への取付金具位置
△印 Cチャンネル ジョイント部

<図-1> 屋根伏図およびパネル配置図

スレート屋根取付金具の取り付け



スレート屋根設置図



<図-2> 取付金具詳細図